



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ジー・ネットワークス
コード番号 7474 URL <http://www.g-networks.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 阿久津 貴史

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 小西 隆弘

TEL 0836-83-5511

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,532	0.8	26	90.9	19	△21.7	△29	—
23年3月期第2四半期	3,502	△6.9	14	—	25	74.0	△118	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.24	—
23年3月期第2四半期	△5.04	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
24年3月期第2四半期	5,095		2,640		51.8	112.00
23年3月期	5,245		2,670		50.9	113.24

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,640百万円 23年3月期 2,670百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,830	6.6	244	26.4	220	0.3	166	—	7.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	23,584,000 株	23年3月期	23,584,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	4,574 株	23年3月期	4,345 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	23,579,654 株	23年3月期2Q	23,580,321 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しており、四半期レビュー報告書を本日付で受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	3
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による企業の生産活動の低下・景気の停滞からの持ち直しの傾向が見られたものの、米国経済の回復の遅れや欧州の金融不安等による円高・株安の進行などにより、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

外食業界におきましては、雇用情勢の悪化懸念等により消費者の節約志向が依然として強く、北陸地方で発生した食中毒事件や原子力災害による風評被害の影響等、当業界をとりまく経営環境は引き続き厳しいものとなっております。

そのような状況のなか、当社におきましては、「安心・安全」を第一に経営管理体制の強化に徹底して取り組むと共に、変化するお客様のご要望にお応えすべく、業態・立地特性に合わせた様々な施策を行ってまいりました。特に経営資源を低価格日常食業態である「おむらいす亭」「長崎ちゃんめん」に集中し、更なる業態価値向上を図ることで、両業態を当社事業の大きな柱とすべく経営にあたって参りました。

以上の結果、売上高は3,532百万円(前年同四半期比0.8%増)となり、昨年以降、不採算店舗の閉店による損益改善が功を奏し営業利益26百万円(前年同四半期比90.9%増)となりましたが、営業外費用が増加し経常利益19百万円(前年同四半期比21.7%減)、四半期純損失は29百万円(前年同四半期は118百万円の四半期純損失)となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。

①外食事業

当事業年度におきましては、消費者の多種多様なニーズにお答えすべく日々業務内容を改善し商品内容の充実を図っております。

(おむらいす亭)

おむらいす&パフェ専門店の「おむらいす亭」につきましては、『こだわり卵の専門店』を新コンセプトに、従来から使用しているネッカーリッチ農法の健康卵「幸卵」にこだわった『本物のおむらいす』を訴求した商品展開を引き続き行って参りました。また新規店舗においてはプレミアムブレンドコーヒーを提供するドリンクバーを設置するなど、カフェ需要の獲得にも積極的に取り組んでおります。

店舗数につきましては、2店舗を閉店し、新たに大阪・名古屋への進出を含む5店舗を出店したことにより、当第2四半期会計期間末は42店舗(直営店舗23店舗・FC店舗19店舗)となりました。結果、当四半期累計期間における売上高は前年同四半期比53.2%増となっております。

また、平成23年11月には東京都江東区のショッピングセンターアリオ北砂店に東京進出1号店目として出店しており、今後もショッピングセンター等商業施設を中心に100店舗体制の構築を目指して参ります。

(長崎ちゃんめん)

長崎ちゃんぽん専門店「長崎ちゃんめん」では、今年も野菜を中心とした「野菜たっぷりちゃんめん」をメインとし、当社職人による『熟練の技とこだわりの味』を新コンセプトに、健康・安心・安全を訴求した商品展開がお客様から引き続き支持されております。季節メニューとして4月から「春野菜ちゃんめん」、9月からは「黒酢きのこちゃんめん」を導入するとともに、高単価商品である「長崎上ちゃんめん」「野菜たっぷり長崎上ちゃんめん」を導入するなど顧客満足度の向上とともに顧客単価の増加に努めました。

また、店舗展開として平成23年4月にショッピングセンター用の戦略ブランドとして、店舗デザインを一新した「長崎ちゃんめん十鉄」を福岡イオンモール・ルクル店に出店しております。今後、同業態はロードサイドのみならず、ショッピングセンター等商業施設にも展開を図って参ります。

店舗数につきましては、平成23年4月度の1店舗の新規出店により当第2四半期会計期間末は42店舗(直営店舗27店舗・FC店舗15店舗)となりました。

(その他外食)

一方「その他外食店舗」におきましては、当第2四半期累計期間においても前事業年度同様、運営業態の「選択」と「集中」を進め、居酒屋業態である「薩摩桜庵」2店舗を「とりあえず吾平」に転換する等、引き続き経営管理の効率化を図っております。

以上の結果、当第2四半期会計期間末の直営店舗数は112店舗(前事業年度末より1店舗増)となり、売上高は2,873百万円(前年同四半期比3.5%減)となり、セグメント利益(営業利益)は102百万円(前年同四半期比6.7%増)となりました。

②教育事業

英会話のNOVA、個別指導学習塾ITTOにつきましては、生徒・父兄の満足度のUPに結びつく様に常に心がけております。結果、生徒募集も好調に推移しており、売上高は356百万円(前年同四半期比8.4%増)、セグメント利益

(営業利益)は32百万円(前年同四半期比42.8%増)となりました。
引き続き当社の安定収益事業として位置付け、運営の強化にあたって参ります。

③食品加工事業

食品加工事業におきましては、「長崎ちゃんめん」のグランドメニュー変更による「餃子」の売上の減少や夏ギフトの売上低迷の影響により、売上高は162百万円(前年同四半期比16.2%減)、セグメント利益(営業利益)は25百万円(前年同四半期比21.4%減)となりました。

年末のおせち販売においては、商品設計を大幅に見直し商品力を向上させるとともに、新規販売代理店の獲得も順調に推移していることから、前年以上の販売を見込んでおります。

④その他の事業

第1四半期会計期間より、新たに建築施工及び設備メンテナンス事業を開始しております。

売上高は138百万円となり、セグメント利益(営業利益)は15百万円となりました。

店舗施工の内製化のみならず外部からの受注獲得にも注力し、売上の拡大を図ってまいります。

(2)財政状態の定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は50億95百万円となり、前事業年度末と比較し1億50百万円減少しております。負債総額は24億54百万円となり、前事業年度末と比較し1億21百万円減少しております。純資産は26億40百万円となり、前事業年度末と比較し29百万円減少しております。その結果、自己資本比率は51.8%となり、前事業年度末と比較し、0.9ポイント上昇しております。

変動の主なものは、資産では現金及び預金の減少86百万円、負債では長短借入金の減少1億46百万円、純資産では四半期純損失29百万円の計上による利益剰余金の減少であります。

(3)業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期業績予想につきましては、平成23年5月16日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	283,452	196,808
受取手形及び売掛金	192,929	235,362
商品及び製品	21,770	30,146
仕掛品	160	2,717
原材料及び貯蔵品	65,079	66,389
その他	246,598	300,716
貸倒引当金	△8,898	△11,615
流動資産合計	801,091	820,524
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,149,301	1,153,169
土地	1,632,524	1,632,524
その他(純額)	208,712	203,833
有形固定資産合計	2,990,537	2,989,527
無形固定資産		
投資その他の資産	47,534	48,147
敷金及び保証金	961,012	891,960
その他	476,058	359,421
貸倒引当金	△30,682	△14,434
投資その他の資産合計	1,406,388	1,236,948
固定資産合計	4,444,460	4,274,623
資産合計	5,245,551	5,095,148
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,813	233,806
短期借入金	200,000	260,000
1年内返済予定の長期借入金	557,512	384,432
未払法人税等	54,232	33,871
引当金	14,293	11,880
資産除去債務	3,696	2,093
その他	339,389	333,073
流動負債合計	1,360,936	1,259,155
固定負債		
長期借入金	1,012,500	979,496
資産除去債務	120,400	122,601
その他	81,502	93,010
固定負債合計	1,214,403	1,195,107
負債合計	2,575,339	2,454,263

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,715,000	1,715,000
資本剰余金	521,970	521,970
利益剰余金	433,956	404,641
自己株式	△714	△727
株主資本合計	2,670,211	2,640,884
純資産合計	2,670,211	2,640,884
負債純資産合計	5,245,551	5,095,148

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,502,434	3,532,048
売上原価	1,248,705	1,334,611
売上総利益	2,253,728	2,197,437
販売費及び一般管理費	2,239,692	2,170,635
営業利益	14,036	26,801
営業外収益		
受取利息	3,786	1,770
受取配当金	301	259
投資不動産賃貸料	40,458	39,751
その他	27,261	18,749
営業外収益合計	71,806	60,531
営業外費用		
支払利息	14,293	12,952
不動産賃貸費用	41,645	44,109
その他	4,568	10,439
営業外費用合計	60,506	67,501
経常利益	25,336	19,832
特別利益		
貸倒引当金戻入額	324	—
固定資産売却益	—	123
会員権売却益	—	909
特別利益合計	324	1,033
特別損失		
固定資産売却損	18,216	0
固定資産除却損	6,994	12,391
店舗閉鎖損失	8,329	12,631
減損損失	2,978	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	66,048	—
特別損失合計	102,567	25,023
税引前四半期純損失(△)	△76,906	△4,157
法人税、住民税及び事業税	22,241	23,383
法人税等調整額	19,643	1,772
法人税等合計	41,884	25,156
四半期純損失(△)	△118,791	△29,314

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。